

平成二十九年年度

上代文学学会大会

来場歓迎
参加費 1,000円
(資料代含む。 院生・学生は無料)

◆5月20日(土)・21日(日)・22日(月)

◆奈良女子大学

■住所 〒630-0181 奈良県奈良市北魚野町
■電話 074-211-0131(大) 074-211-0133(大) 074-211-0134(大) 074-211-0135(大)

20日(土)

公開講演会 (午後二時～四時三十分)

■会場 講堂

学会挨拶

挨拶

◆ことばでわかること、ことばがわかること

◆大伴旅人 ― 遊於松浦河二領中塵之嶺の序と歌を中心に ―

代表理事 東洋大学教授

奈良女子大学古代学術研究センター長

元お茶の水女子大学教授

菊地義裕

出田和久

奥村悦三

荻原千鶴

21日(日)

研究発表会 (午前九時三十分～午後三時四十分)

■会場 S棟二三五大講義室

研究発表会

午前の部

(午前九時三十分～午後〇時十分)

◆日本霊異記中巻の「異界」描写における改変…冥報記との比較を中心に…

◆古代舞踊の基礎的考察 ― 久米舞の変容をめぐって ―

◆『万葉集』巻十三の三野王挽歌 ― 「大馬之慕」をめぐって ―

午後の部

(午後一時～三時四十分)

◆高橋虫麻呂の伝説歌四首の諸相 ― 挽歌との関係性 ―

◆地震をめぐる「天武紀」の歴史叙述 ― 災異と対策の相関関係 ―

◆『懐風藻』の「春苑 応詔」詩二首 ― 比較によって見えてくるもの ―

○司会 大東文化大学教授 孫 世偉

○司会 慶応義塾中等部講師 坂口 敦史

○司会 和光大学教授 津田 博幸

○司会 フレリス学院大学教授 大谷 浩

○司会 阿南工業高等専門学校教授 錦織 浩文

○司会 二松舎大学教授 塩沢 一平

○司会 聖徳大学教授 山田 純

○司会 早稲田大学教授 高松 寿夫

22日(月)

臨地研究

※学会からは特に案内はいたしません。

上代文学会事務局
東洋大学文学部 菊地義裕研究室 内
〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20
jimukyoku@jodaibungakukai.org

既刊のご案内

おかしいぞ!
国語教科書

古すぎ万葉集の読み方

梶川信行 編

A5判・2500円

上代文学会 監修

昭和から改訂されない記述を徹底解

剖。最新の研究水準から読み直す。

万葉写本学入門

上代文学研究法セミナー

小川靖彦 編

A5判・1300円

知っておくべき、知識と技術の基本

を紹介。伝本一覧などの情報満載。

万葉挽歌の表現

挽歌とは何か

高桑枝実子 著

A5判・7800円

編者が挽歌だと判断したポイントは

どこにあるのか、成立と本質を解明

古代人の信仰と伝承は人々の心にと

う生まれ、文獻上で確立されたのか

神意識

森陽香 著

A5判・8500円

『万葉集』における

帝國的な世界と「感動」

トクイル・ダンシー 著

青山学院大学文学部日本文学科 編

A5判・7500円

天皇中心の古代帝國的な世界から、感

情表現という概念の正体を追う。

万葉集訓読の

資料と方法

池原陽斉 著

A5判・11000円

赤人集・古今和歌六帖を対象に、平

安朝仮名文獻活用の論議を開く。

日本霊異記の罪業と

救済の形象

大塚千紗子 著

A5判・5800円

作品論的読解により、中国説話の未

熟な模倣作とされた評価を覆す。

アプリで学ぶくずし字

くずし字支援アプリKUZUSAの使い方

飯倉洋一 編

A5判・800円

スマホやタブレットでくずし字を手

軽に学べるアプリのガイドブック。

風土記研究

第39号

風土記研究会 編

A5判・4000円

「執事」宮川俊・山根桃子・兼尚理恵

／風土記関係書籍新刊・報告・予告

○定価は税別です。

笠間書院

〒101-0064 東京都千代田区橋本2-2-3
電話: 03-3295-1331 Fax: 03-3294-0996
<http://kasamashoin.jp/>